

平成10年度 子ども会役員

会長 木村 俊介
副会長 田中 大樹 小原 真知子 今井 結花
運営委員 和氣 真砂雄 原 憲人 植野 寛史 西野博貴
島津 敬吾 前間 友希 永野 加奈子
松村 亜沙子 森岡 杏奈 片岡 知永

平成10年度 育成会役員

10年度もひきつづき、育成会会長を務めさせて頂くことになりました。
町内の皆様方には、毎年子ども会並びに育成会の行事にご支援・ご協力を賜りありがとうございます。本年度の両会の役員が決まりました。よろしくお願ひします。(育成会会長 和氣芳夫)

僕と子供会

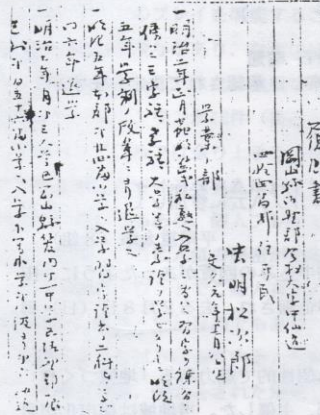
子ども会会長 木村 俊介 (小6)

僕は、一年生になる年の春休みに、岡山へ引っ越してきました。来てすぐに、友達がたくさんできるように子供会に入りました。
子供会にはソフトボールがあったので入りました。練習は広いグラウンドでして、かんとくやコーチも忙がしいなか、練習を教して下さいます。練習はきびしいけど、僕は試合が楽しみです。負けることもあるけど、勝ったときはとても嬉しいです。
子供会の行事には、8月に夏祭りやキャンプがあります。夏祭りのなかでは「たるだいこ」があります。たいこをたたくということは、ふだんできないことなので、とても良い思い出になりました。キャンプはテント作りから始め、テントをたたむまで何でも自分達です。他には秋祭り、三世代交流、カルタとり大会などがあります。
最後に、6年生とのお別れ会はソフトボールを楽しんだり、わしゅう山ハイランドに行ったりします。

こんな色々な行事があって、とても楽しい子供会です。僕は、4月に6年生になります。ソフトや色々な行事を最後までがんばって、良い思い出にしたいです。

本年度は、子ども会バザーはありませんので、ご了承ください。

《連載》



わが郷土を語る (その34-2)
中尾 佐之吉
故「虫明松次郎」さんの足跡をたずねて

《その2》修学の履歴
松次郎さんは子どもの時、学校もなかった頃は、どこでどのように勉強したのだろうか。学校ができたも、どんなことを習ったのだろうか。興味があった。幸い、本人の学業関係履歴書を見せてもらう機会をえたので、松次郎さんの修学の跡を尋ねてみることにする。

虫明松次郎修学年表 (本館蔵、リ贈 ...上記の事...から成)

Table with columns: 年次 (Year), 年齢 (Age), 塾または校名と塾教師 (School/Tutor), 学習事項 (Study Items). Rows include years 1-16 and various schools like ①長瀬 浪次 and ④雲蒸学舎.

○印の箇所は、下記に筆者が註釈を書いてみた。参考になれば幸い。

愛育会役員

委員代表 太田 時子 (7組委員)
委員 1組 中山 正美 6組 小寺 悦子
2 上野山 美佐子 7 太田 時子
3 原 昭子 8 宮地 あゆみ
4 伴 節巳 9 遠藤 幸子
5 楠原 まり子

註1 蟲明整さんは、同じ中仙道の人、明治2年は整さん21才のときである。なお、御野郡24番小学は、この整さん宅に設けられていた。なお、三字経は、江戸時代に、漢字3文字を一句として書かれた児童教訓書。
註2 156番小学は、辰巳村の大森喜之吉さん宅納屋に設けられていた。それが、松外小学校と名づけられ、さらに、順則小学校と改称したのである。校舎も池田藩の演武場を譲り受け、辰巳村へ解体移築して利用した。

一下等小学校卒業表一

Table showing school graduation records with columns for 級 (Grade) and 教科 (Subject). Includes entries for 世皇, 高野, 國名, 彦丸, etc.

当時は、小学校の課程を上等と下等に分けていた。松次郎さんの学ばれた下等小学校の課程は、左掲のとおりである。ひとつの級の習業は6か月なので、下等小学校を終えるには、4年かかるわけだ。しかし、松次郎さんは、この課程を3年で済ませ、上等小学校へも進まず、私塾で勉強して師範学校へ入っておられる。

註3 長瀬浪次さんは、辰巳村の人、順則小学校の校長もなされた方。(なお、日本政記は、頼山陽の著書で史書。『職方外紀』)

註4 雲蒸学舎の雲蒸とは、「雲蒸龍変」(雲がむすのに乗り、蛇が龍に変わって空にのぼる)の言葉からとってつけた名前と思えるが、この名前にあやかりたいとの人気なのか、生徒数は、明治5年頃130人にもものぼっていた。(岡山市史による)

付記1、雲蒸学舎にしても師範学校にしても、校舎は市中である。松次郎さんは、雨の日でも冬の寒い日であろうと、下駄や草履(?)で、家から5キロから6キロの道のりを歩いて通ったのであろう。しかも、帰りは夜道だったにちがいない。当時は勉強も大変だった。
付記2、また、松次郎さんは、師範校に学びながら特別に数学を学んでおられる。とくに土木工事や測量に必須の三角法まで勉強しておられる。ただの向学心だけでなく、なにか将来に期するところがあったのであろうか。さいてみたくなるところだ。(観世、龍加にむとも、龍加観)